

令和5年第1回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和5年1月24日（火）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時30分

III 出席委員

教育長 妹尾 均

教育長職代理者 太宰 実千代

委員 加藤 正枝

委員 三宅 英次

委員 二宮 崇

IV 欠席委員

V 説明のため出席した職員

教育次長 小崎 隆

教育総務課長 山内 祐樹

学校教育課長補佐 川崎 浩一

就学前教育課長補佐 藤原 華寿磨

社会教育課長 寶藏 光辰

学校給食センター所長 宇山 哲司

（書記）清山 智保

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和4年第18回教育委員会会議（令和4年12月20日）の議決事項等について

教育長の報告：鉾立小学校の今後の方向性について

議 事：なし

協 議：なし

報 告：適正規模・適正配置検討委員会第2回会議について 他2件

（承認）

3 教育長の報告

（1）令和4年12月定例市議会 一般質問概要について

(妹尾教育長) 資料により説明

4 議 事 なし

5 協 議

(1) 新たな玉野市教育振興基本計画（総合計画分野別計画）について

(教育総務課長) 教育基本法において、市町村は教育基本計画を策定するように努めることをいうことが定められている。玉野市では、玉野市総合計画の分野別計画を玉野市教育振興基本計画として位置付けている。現在の総合計画は、令和5年3月までの期間について定めたものとなっているため、現在新たな総合計画を策定しているところである。それに関連して教育振興基本計画も新たなものとなる。

(各課長・課長補佐) 資料により説明

(三宅委員) 何も事前に説明がなかったなので、何を協議するのかわからなかった。事前に説明してもらいたかった。計画の中身について、大きく変えることができないのであれば、どの程度意見が言えるのか。

(妹尾教育長) 最初の段階で、教育委員会で協議すればよかったと事務局の中でも大いに反省しているところである。構成などは大きく変えられないが、多少の文言の修正はまだ可能である。

(三宅委員) 施設の整備については、予算を伴うことであるため、目標値を設定できると思うが、他の項目については、どうやって目標値を決定したのか。

(教育総務課長) 「ICTを活用した授業を日常的に行っている教員の割合」については、100%を求めるものである。

(学校教育課長補佐) 現状値やコロナ禍以前の数値を加味しながら、4年間かけてこのくらいまでにしたいというものを設定している。

(就学前教育課長補佐) コロナ禍以前の実績を勘案して設定している。待機児童については、0を維持したいと考え設定している。

(社会教育課長) 多くは、市民意識調査の結果を踏まえて総合政策課と協議して決定している。公民館講座受講者数、図書貸出冊数、体育施設利用者に関しては、それぞれの振興計画の数値である。

(加藤委員) 施設整備の目標値がこのくらいなのが適切ではないかと思っている。学校教育課の目標値は、どのような調査を行い、どのような趣旨をもって、この目標値を設定したのか。

(学校教育課長補佐)

調査としては、毎年4月に実施している全国学力学習状況調査である。「夢」というと、子どもは大きな夢を描いてしまうが、大きな夢だけではなく、大きな目標に向かっていくための小さな夢や目標、スモールステップも大切なのだ、それも夢なのだということを指導している。説明なく調査を実施したときには、数値が低かった。日常の小さな目標の積み重ねが将来につながっていくという意味での目標設定だということを説明して調査を実施している。学校に行くのが楽しいということは、行事に参加しているという設問は子どもにもわかりやすい部分であるが、楽しいという中には共に学ぶことや学ぶことの喜びなど様々なものが含まれている部分である。地域連携を推進しており、キャリア教育としても地域からの学びも掲げているので、地域を知り、地域に入っていくこともやってほしいということで目標を設定した。

(加藤委員)

9割の中学生が学校が楽しいと感じるのは難しいのではないかと。中学生は、部活動ができたり、友達と色々なことができたりするようなことではないか。適正規模化にもつながる部分であるが、部活動も満足にできない状態、クラスで競うこともできない状態である。少人数や小規模の学校だと、いじめが起こったら、ずっと変化がない状況に陥る。私たちが育った頃と比べて、今の子どもたちはかわいそうだと思っている。いじめは1件でもあれば大事に解決する方向にもっていくのが、少人数、小規模の学校だからこそできることではないか。1学年2学級以上が維持できない規模の学校であれば、いじめや不登校が岡山県の中で一番低くするというような目標を設定してもらいたい。学校教育課はもう少し真剣に取り組み内容を検討してもらいたい。転出していく人に、理由を調査してみてはどうか。ショックな結果が出てくるのではないかと。私の周りには、玉野市の学校に行かせたくないという理由で市外に転出している人がいる。玉野で教育を受けさせたいから玉野に住むということになるように根幹から変えていってもらいたい。今後、人口が減っていく中で、地域学校協働活動に参画する地域住民の数が増やす必要があるのか。目標にする必要があるのか、疑問に思う。各種講座の募集時期については検討してもらいたい。文化財については、個々で訪れることもいいと思うが、玉野の文化財を回るバスツアーなどがあったらいいのではないかと。

(三宅委員)

多様な保育サービスの提供とあるが、今まで実施しているサービスばかりである。子育て支援を本当に実施するのであれば、ちどり保育園で実施しているような習い事を園でできるような思い切ったサービスを提供することも工夫しながら検討してもらいたい。生涯学習活動環境の改善に、老朽化が進む施設を適切に改

- 修・整備するとあるが、本当に実施していくのか。地域は期待している。具体的に記載してもらいたい。
- (社会教育課長) 具体的な記載は難しい。どこでいつ何が壊れるかはわからない。予算要求で順次改修していきたいと思っているが、財政的な部分でなかなか進まない。三宅委員は、ゼロをプラスにしていく考え方かと思うが、ほとんどがマイナス状態である。マイナスをゼロにできるだけ近づけることを今は行っている。
- (加藤委員) 私はむしろ、マイナスの施設は廃止すればよいと思っている。これから人口が減少するし、学校や保育園等の施設の統廃合による跡地の利用方法もどうなっていくかわからない。たくさんの人が利用できる施設は適切に修繕していけばよいと思うが、利用者が少ない施設は、小中学校の統廃合と同じで、廃止して、土地を売って市の財政に充てるとかを考えていかないといけないと思う。市民が少し不便になるかもしれないが、よりよい環境で公民館活動ができるようにするためには、大人が割り切って考えていくことが大切なのではないかな。
- (妹尾教育長) 率直なご意見を頂いた。改善できる部分は改善していく。
- (教育総務課長) 「教育大綱」も総合計画も両方とも市長が策定するものである。教育大綱は、総合計画とリンクした内容となっている。新たな総合計画の策定に伴い、教育大綱も新たなものになる。2月に総合教育会議を予定しているが、新たな教育大綱について、そこで意見交換することになる。

6 報 告

(1) 玉野市立公立学校等施設整備計画 事後評価について

(教育総務課長) 資料により説明

(2) 学校給食費の改定・学校給食費の補助について

非公開事項のため会議録は公表しない。

(3) 令和5年玉野市二十歳の式の実施報告について

(社会教育課長) 資料により説明

(4) 鉾立小学校の今後の方向性について

非公開事項のため会議録は公表しない。

7 その他

(1) 令和5年2月／3 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明

次回、教育委員会定例会は令和5年2月7日(火)14:20から開催するので参集願
う。以上で、令和5年第1回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 清山 智保

会議録署名委員 教育長 妹尾 均

教育長職務代理者 太宰 実千代